



校長先生の挑戦6：学ぶのは何のため？

10月1日の全校朝会では「学ぶのは何のため？」と題して、子どもたちが毎日取り組んでいる「学ぶ」という事についてSDGsの視点から考えてみました。

【サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ】

(持続可能な開発目標)では、地球上の誰一人取り残さないことがうたわれており、その実現のための17



の目標が掲げられています。SDGs = 環境問題と認識されがちですが、地球上の全ての人(人に限らず全ての生物や地球そのもの)が幸せな暮らしを続けていくために取り組むべき目標は多岐にわたります。その中でも「④質の高い教育をみんなに」という目標は、これまで、日本においては、ずっと「達成済み」と評価されてきました。しかし、今年の調査では、一つランクが下がり、「課題が残る」という評価に変わっています。要因としては、経済状況による教育の格差が指摘されています。このことから、私は、子どもたちの「学ぶ権利」を守らねばという意を強くすると共に、学ぶことは「権利」であることを、是非、子どもたちに伝えておきたいと考えました。

今回の話の主人公は、マララ・ユスフザイ。1997年、パキスタン生まれ。現在26歳の女性です。マララが9歳の頃、自分の住む町が武装勢力「タリバン」に支配され恐怖政治が行われるようになりました。「タリバン」は、女性が教育を受けることを禁じ、それを破る者は命さえ狙われました。そんな中、マララは11歳の頃から、その恐怖や女性への教育の必要性を訴えるブログを外国の放送局に投稿し始めました。その命がけの訴えは世界中の人々の心に届き、様々な国のリーダーがマララの意見に賛同したり、女性が勉強する仕組みを整えたりして世界が大きく変わり始めました。マララは、15歳の時、下校中に「タリバン」に襲われ、頭に2発の銃弾を受けました。その後、マララは、奇跡的に回復し、今も自分の意見を述べ続けています。

マララの行動は、「勇気があった」の一言で説明できるものではないと思います。

【知ること】「世界では女性も勉強するのが当たり前。勉強できないのは自分達だけ。」

【感じること】「女性がやりたい事をやったり、夢をもったりできないのはおかしい。」

【考えること】「銃をもった大人を相手に子どもの自分にできることは何もないの?」

【行動すること】「この恐ろしく、つらく理不尽な現実を多くの人に知ってもらおう。」



この4つのことが揃って初めて実現したことであり、学びの本質もそこにあります。自分の未来を切り拓く力、世の中を良い方へと向ける力、学びには、そんな素晴らしい力がある。だからこそ、マララは命をかけてそれを守ろうとしたのだと思います。「学ぶことは権利」。その大切さを伝えられるよう努力していきたいと思います。

スクールトライアル。理后先輩、素敵な先生になってね!

9月18日~20日に、スクールトライアルがありました。スクールトライアルとは、教職を志す学生が、学校現場を参観し、現場の雰囲気や子どもたちの様子を肌で感じることを通して、自身の将来の姿を思い描き、今後のキャリア形成に生かしてもらおうとするものです。大学での学年が上がると、教育実習などのより実践的なプログラムが待っています。6年生の中島香后さんの姉でもある中島理后さんはみんなの先輩です。



教壇に立つ理后先輩の姿をみんな楽しみにしています。

結団式！そして、予行練習。みんなの心を一つに！

9月27日に結団式があり、赤・白各団の団役員が以下のように決まりました。



☆赤団団長・・・丸田 大地さん
副団長・・・中島 香后さん
リーダー・・・池田 義章さん 横山 琴音さん
リーダー・・・樫原 理玖さん 鳥谷 快斗さん
☆白団団長・・・宮田 虹雫さん
副団長・・・鈴木 椋乃さん
リーダー・・・河野明日香さん 寺岡 青空さん
リーダー・・・小高 陽司さん 山口叶一朗さん

10月4日からは全体練習も始まっています。今年は、運動会が昨年より10日ほど遅い開催のため、その分、練習のスタートも遅らせました。それでも厳しいこの暑さの中、子どもたちの心は、2人の団長さんを中心に、一つにまとまっています。

10月16日には、予行練習を実施しましたが、団長さんの熱量に引っ張られるように、全校児童の応援や競技、表現などに熱がこもってきました。頑張るのは感動するため、感動するのは心に残すため、心に残すのは未来に繋ぐため。運動会を「人と人を感動でつなぐ素敵なもの」とできるように、一人一人が自分の目標を持って最後の仕上げに取り組んで欲しいと思います。運動会、とても楽しみです。



鮮やかな黄色いサージに込められた思いを力に！



9月25日に、黄色いサージ20枚が届きました。サージとは、運動会でエイサーを踊る子どもたちがかぶる頭巾のことです。桜ヶ丘小では、最上級生である6年生だけが、揃いの黄色いサージをかぶります。そのサージが、これまでの長年の使用によって、すっかり色あせてしまっていることを知り、お二人の卒業生が寄贈を申し出てくださいました。その卒業生とは、岡部孝俊、光汰さんの御兄弟です。

兄の孝俊さんは、桜ヶ丘小でのエイサーとの出会いが一つのきっかけとなり沖縄の大学に進学、現在は、大学院在学中です。また、弟の光汰さんは、大学院卒業後、県内に就職されたばかりとのこと。まだまだ、自分のことで精一杯でもおかしくない年齢でのこの快挙。桜ヶ丘小でのエイサーとの出会いがどれだけ大きいものだったかが伺えます。頑張ったからこそ、その感動がしっかりと心に刻まれ、数年の時を経て、この素敵な行動に繋がったのではないのでしょうか？

「そんなお二人の思いに応えるために」というのではなく、こんな素敵な姿を見せつけられたら、自分も頑張ってみたくありませんか？頑張らないと勿体なくないですか？5日後の運動会当日、鮮やかな黄色のサージを身に付け、今年の花を咲き誇らせることができるのは、13人の6年生、皆さんだけなのです。自分の花をどう咲かせますか？



11月の行事予定

11月 1日	秋の遠足(1・2年)	11月19日	クラブ⑦
11月 5日	全校集会	11月20日	避難訓練(火災)
11月12日	油津小との交流(5年)	11月22日	振替休業日
11月13日	音楽大会(3・4年)	11月28日	宿泊学習(5年)
11月17日	参観日	11月29日	宿泊学習(5年)

